

応援の時は
カワイー!!って
叫んで下さい

キャプテン 河合代二選手

1991年9月22日生まれ。岐阜県出身。
2014年に入部。最近の主な結果は、3月に開催されたびわ湖毎日マラソンで自己新記録(2時間10分50秒)をマークし、9月に東京で開催されるMGC(マラソングランドチャンピオンシップ)の出場権を獲得。5月の日本陸上競技選手権大会10000mに2年連続出場を果たし、28分43秒45を記録した。

河合選手のここに注目!

長距離はチームの誰よりも得意だと自負しています。日本陸上競技選手権大会に出場して日本のトップランナーたちと走れたことや、MGCの出場権を手に入れることができたことは大きな自信になりました!

応援の時は
卓弥!!って
叫んで下さい

西澤卓弥選手

1995年1月28日生まれ。静岡県出身。
2017年に入部。最近の主な結果は、昨年11月に開催された中部実業団駅伝7区(11.8km)で区間賞(34分21秒)を獲得し、1月のニューイヤー駅伝では7区(15.5km)で区間10位(46分48秒)を記録した。

西澤選手のここに注目!

試合に向けての調整能力が年々高くなってきています。試合に合わせて確実に調子を上げられるところが自分の長所だと思います。年間を通して調子の波はありますが、常に自分の状態をしっかり把握できています。

5月19日

日本陸上競技選手権大会

第103回日本陸上競技選手権大会がヤンマースタジアム長居(大阪市東住吉区)で開催され、河合代二選手が、10000mで5位に入賞しました。



▲河合選手

◆10000m

順位	5位
出場選手	河合 代二
タイム	28'43"45

4月24日

アジア陸上競技選手権大会

第23回アジア陸上競技選手権大会がカタールのドーハで開催され、服部弾馬選手が日本代表で出場し、5000mで4位に入賞しました。



▲服部選手

◆5000m

順位	4位
出場選手	服部 弾馬
タイム	13'47"82

写真提供:フォート・キシモト

トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。



No. 5

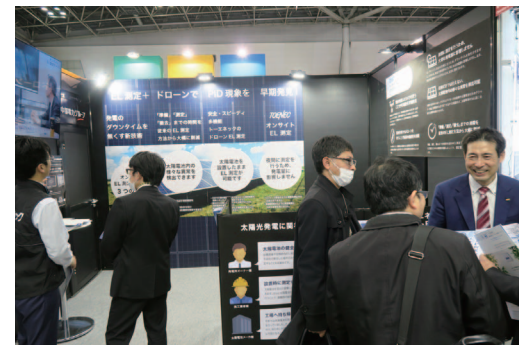
2018年度決算 (2018年4月1日～2019年3月31日)

連結決算につきましては、当期の売上高は、配電線工事など中部電力向けの工事は減少しましたが、屋内線工事や空調管工事など一般得意先向けの工事が増加したことや太陽光発電事業の売電収入が増加したことなどから、増収となりました。利益面は、売上高の増加とコスト管理の徹底に努めたことなどから、各利益とも増益となりました。

■連結・個別経営成績(単位:百万円)

	2019年3月期		2018年3月期	
	連 結	個 別	連 結	個 別
売 上 高	218,984 (5.7%)	196,866 (4.3%)	207,198 (4.7%)	188,783 (4.6%)
営 業 利 益	11,029 (22.5%)	9,373 (34.4%)	9,002 (16.7%)	6,975 (8.1%)
経 常 利 益	10,146 (13.8%)	8,563 (24.5%)	8,918 (12.8%)	6,877 (4.0%)
親会社株主に 帰属する当期純利益 (個別は、当期純利益)	6,672 (15.4%)	5,796 (31.5%)	5,783 (11.8%)	4,409 (△0.4%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前期増減率



▲当社ブースの様子

東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された太陽光発電システム施工展に「オンサイトEEL測定サービス(ネドローン)」を出展しました。同サービスは、当社が独自技術を使用した特殊カメラを搭載したドローンにより、太陽光パネルの劣化、異常診断を現地で行うものです。

太陽光発電システム施工展

3月25日

博士号を取得



技術研究開発部研究開発グループの千葉理恵研究主査は名古屋大学から博士号を授与されました。千葉研究主査は、病院におけるエネルギーマネジメント(設備の運転管理や省エネルギー対策など)に関する研究に取り組み、博士の学位を取得しました。

6月1日 工業高校生の競技大会に協力



▲技術指導の様子

第25回愛知県高等学校工業教育研究会総合競技大会(主催:愛知県高等学校工業教育研究会)の電気工事競技の開催に協力しました。当社は会場を提供した他、社員が審査員を務めるとともに出場選手に技術指導を行いました。

トピックス

第67回電設工業展

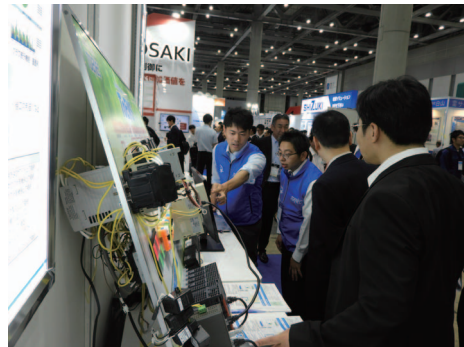
JECA FAIR 2019

電気設備に関する日本最大級の 総合展示会に出展

東京ビッグサイト(東京都江東区)で5月22日～24日に開催されたJECAFAIR2019(主催(一社)日本電設工業協会)に出展しました。

今回の当社ブースは、当社が独自技術を施した特殊カメラを搭載したドローンにより、太陽光パネルの劣化・異常診断を現地で行う「オンサイトEL測定サービス」をメインの展示品とし、同サービスを紹介する実演ステージを行いました。また、同サービスが夜間に太陽光パネルの異常箇所を撮影し、診断することを分かりやすく伝えるために、ブース内に「実演スタジオ」と称した半暗室を設置し、破損した太陽光パネルの実物と実際の測定作業に使用している専用カメラを搭載したドローンを展示し、撮影した画像を見ていただきました。

当社ブースではその他、プラスチック製品などの製造工場向けの効率化・省エネ活動支援ソフト「MiELシリーズ」や、あらゆる設備の監視・制御が可能な「ToEMS(トーエネックエネルギーマネジメントシステム)」などを紹介しました。



▲にぎわう当社ブース



▲実演スタジオ内の様子



▲注目製品として「オンサイトEL測定サービス」がインタビューを受けた様子

表彰



▲(左から)小林グループ長、西戸研究副主査、青山社員

技術研究開発部
研究開発グループ
小林グループ長、
西戸雄輝
研究副主査、
青山泰宏社員
「オンサイトEL測定による太陽電池の異常箇所検出手法の開発」が電気関係事業の進歩と発展に寄与したと評価されました。



(一社)電気学会 静止器技術委員会から表彰

12月14日

技術研究開発部
研究開発グループ
藤田悠 研究副主査
「単相コンデンサの常時設置による配電線の電圧不平衡抑制方法※」についての発見が、学術の向上に貢献すると評価されました。
※中部電力および名古屋工業大学の共同研究

(一社)日本電気協会から表彰

3月25日

トピックス

技能五輪国際大会(ロシア)に出場 清水貴央選手

昨年11月に開催された技能五輪全国大会で、当社の清水選手が金賞に輝き国際大会の出場権を手に入れました。8月23日からロシアのカザンで開催される国際大会を目前に控えた今の心境などを聞きました。

◆国際大会に向けた練習を続ける傍ら、オーストラリアと中国で開催されたプレ競技会に挑戦しました。感想を聞かせてください

清水 勝敗を分けるのは、技術力だけではないと感じました。国際大会では日本の工具は殆ど使えないルールになっています。プレ競技会も同様のルールで行われ、見たこともない海外製の工具を使いました。また課題が英語で書かれているため通訳の方を頼りに競技を進める必要がありました。日本の大会では経験したことのない事象に次々と直面する中で、何があっても平常心を保つ精神面の強さも勝敗に大きく影響することを学びました。

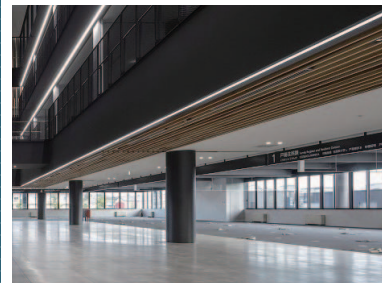
◆本番に向けた抱負をお願いします

清水 国際大会では、完成品の美しさよりも図面通りに正しく動作する正確さが要求されますが、これは実際の施工現場では当然のことです。高品質を目指すという電工として当たり前の気持ちを忘れずに臨めば、十分世界に通用すると思います。



▲国際大会用の練習課題に取り組む清水選手

現場の足跡



施工概要

- 工事場所 三重県伊賀市四十九町3184
- 工期 2017年5月24日～2018年11月28日
- 概要 【敷地面積】17,104.50㎡
【延床面積】14,288.72㎡

建物の天井は、天井の直天井(上の階床下に設置した配線ダクトなどを下の階から覆い隠さない天井)であったため、照明用のダクトが露出してしまっていました。そこで、ダクトの大きさや形状および塗装の色を内装のデザインに合わせ目立たないように配慮しました。

また、1階ロビーは、壁と平行に板を並べて光源を覆うルーバー天井で、板の間隙から天井内部が見えたため、天井内部の配線や支持材に黒色の物を使用するなどして内装のデザインを損なわないようにしました。

施工メモ
建物の天井は、天井の直天井(上の階床下に設置した配線ダクトなどを下の階から覆い隠さない天井)であったため、照明用のダクトが露出してしまっていました。そこで、ダクトの大きさや形状および塗装の色を内装のデザインに合わせ目立たないように配慮しました。

伊賀市庁舎新築工事

三重県伊賀市の新市庁舎が完成しました。同庁舎は柱に耐震性の高いコンクリート充填鋼管構造を採用するなど、防災面でも優れた建物となっています。当社は同工事の電気設備を施工しました。